

熊本六街道

宇土の道・天草の道

「天草路」は宇土の札の辻を起点に
三角、大矢野、松島、有明、本渡、五
和を通り斧北町富岡へと至る道である。
この道筋には「薩摩街道」「豊後街道」
などにあつた、方向や距離を表す道
標・里数木が見られない。江戸時代天
草は天領（幕府の直轄地）、宇土半島
は肥後領であり、両者の交流はそう頻
繁ではなかつた。また、四方を海に囲
まれた天草との往来には船を利用する
のが一般的で、陸路を旅することはほ
とんどなかつたため、肥後国から富岡
への一本の街道としては確立されてい
ない。旅のための道としての性格がな
いのである。肥後国内の道（宇土・三
角）と天領の道（天草諸島の道）。二
つに分けられる天草路は、主に隣村や
近在の村々と交流するための生活道路
領主・代官が村々をおさめるための道
だつたのである。六街道の中で唯一、
目的地を冠した名称で呼ばれないこと
が、そのことを物語つている。



宇土半島の大集落——郡浦

田 おうだ

三二二
郡浦は中世の頃から阿蘇四社（阿蘇
健軍、甲佐、郡浦）の一つ郡浦神社の
社領（その広き郡浦三五〇町注）、網
田八〇町）として開け、ことに八代海
浦へと向う。枝折神の急坂を登り切り
眼下に島原湾を見ながら郡浦へと一氣
に峠を下る。



郡浦は中世の頃から阿蘇四社（阿蘇、健軍、甲佐、郡浦）の一つ郡浦神社の社領（その広さ郡浦三五〇町注）網田八〇町として開け、ことに八代海に開けた舟津は港町として栄えていた。天草・島原の乱に際しては、細川氏の兵や物資がここから直接島原へ渡されたという。江戸時代には網田・戸馳（とばせ）にわたる郡浦手永地区の会所（現在の役所）が置かれ、宇土半島の大半を管轄していた。しかし今はミカン畑の造成などによつて道筋はほとんど失われ、周囲の状況も変わり、昔の姿をうかがい知ることはできない。（生一丁目二二）

は
て
き
な
い

九九
一
アル



(参考文献) 熊本県歴史の道調査 天草路
昭和59年3月 熊本県教育委員会発行
お問い合わせ
熊本県教育厅文化課
TEL(093)33-1211

市内の中心街に入ると諏訪神社がある。天草では、『天草・島原の乱』の折に多くの神社仏閣が焼き打ちにあつた。乱が平定され、天領として統治が始まるとすぐに、人心の安定をはかるため早急に寺社が再興された。諏訪神社もこの一つで、この時から八月一日の大祭で農具市が開かれるようになつた。これが当時商店が少なかつた天草で、次第に農民が生活必需品を買い求める雑貨市「本渡の市」へと発展したといふ。「本渡の市」は九州三大市の一つといわれ、当時の神社（現在アーケードの商店街になつている中心街の一角）を中心に海岸線が露店や見世物小屋でうめつくされていた。この市に来るため大勢の人が往来し、島内各地と本渡とを結ぶ道が形づくられ、唐津や長崎から直接船で訪れる人もあり、舟運も発達。本渡は門前町として栄えた。

「本渡の市」は現在も毎年十一月一日からの一週間開かれ、大変な賑わいを見せて いる。

諏訪神社の門前町——本渡

天草行政の中心——富岡

海岸線をたどり富岡に着く。天草が置かれた富岡は、天草行政の中心地であった。当時行政上の連絡事項（触書など）は、代官所から島内の各郡会所へと伝えられていたため、富岡を起点に本渡・牛深への道が確立されたのである。

経済的にも良港として有名な袋浦（現在の富岡港）での長崎交易をはじめ、大阪屋・万屋・唐物屋などの天草を代表する商人が手広く事業を行っていたといふ。今いざなぎ端林寺の前から富岡城跡へと続く町並が、昔の城下町の面影を色濃く残している。

市内の中心街に入ると諏訪神社がある。天草では“天草・島原の乱”的折に多くの神社仏閣が焼き打ちにあった。乱が平定され、天領として統治が始まる。とすぐに、人心の安定をはかるため早急に寺社が再興された。諏訪神社もこの一つで、この時から八月一日の大祭で農具市が開かれるようになった。これが当時商店が少なかつた天草で、次第に農民が生活必需品を買い求める雜貨市「本渡の市」へと発展したといふ。「本渡の市」は九州三大市の一つ

A black and white photograph showing a dense field of tall grass or crops in the foreground, with a wooden fence and some buildings visible in the background.

⑬本渡祇園橋
⑭本渡市アーケード街

The map shows the coastline from Nihonmatsu to Nagashima. Key points marked with numbers are: ① Nihonmatsu (瀬戸), ② Tomonaga's Tomb (林兄弟の墓), ③ Shiojiri Fifteen Shrines (小島子十五社), ④ Nagashima (有明町), ⑤ Seigantoji (正覚寺), and ⑥ Yamagishi Mountain (木山). A photograph at the top left shows a stone monument in a wooded area, identified as the Yamagishi Mountain site.